

令和 3 年度の事業進捗状況及び令和 4 年度の予算要求に向けて

基本目標Ⅲ スポーツによる賑わいとまちづくりの推進

推進項目

- (1) スポーツツーリズムの推進
- (2) スポーツを通じた地域コミュニティの維持・再生
- (3) ホストタウン登録におけるニュージーランドとの交流

事業の進捗状況

- ・交流人口の拡大を目的とした「湊酒田つや姫ハーフマラソン大会」は種目をハーフ、10km に限定、ソーシャルディスタンスを考慮し定員の縮小（2,000 名⇒1,200 名）等を図って開催に向けて準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症の影響及びエントリー者数が最少催行人数（1,100 名）に届かず、当初予算と比較して収入額が大幅に不足する見込みであり、大会開催経費の確保が困難であることから中止となった（最終エントリー者数 908 名）。
- ・「みなと酒田トライアスロンおしんレース大会」は、令和 2 年度時点で新型コロナウイルス感染症の影響を理由に中止の判断をした。
- ・コミュニティ振興会が主催する地区運動会やスポーツイベント等も新型コロナウイルス感染症の影響により多くのものが中止となっている。
- ・市民体育祭は、参加者の健康管理チェック体制や競技種目の見直し（参加人員の削減）等、さまざまな面で見直しを図って開催に向けて準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。市巡回駅伝大会も同様に中止となった。
- ・コロナ禍では、運動不足から身体的及び精神的な健康を脅かす健康二次被害が懸念されているため、スポーツ推進委員会では負担金を活用して、地区体育振興会等でニュースポーツの教室を開催する際の備品購入費の一部を補助する予定である。

現状評価

- ・「スポーツによる賑わいとまちづくりの推進」に係る「湊酒田つや姫ハーフマラソン大会」や「みなと酒田トライアスロンおしんレース大会」などがコロナ禍により中止を余儀なくされているが、これまでの開催実績により市民から親しまれている事業であり、また、全国的にも知名度を上げつつある事業であることから、施策を推進するためには事業の継続が必要である。
- ・地域住民の寄り所となっているコミュニティセンター等において、市民が気軽にスポーツ活動を継続して楽しめるように、ニュースポーツの道具の整備、更新が課題となっている。

令和 4 年度の予算要求に向けて

- ・「湊酒田つや姫ハーフマラソン大会」は、来年 5 月開催予定の「仙台国際ハーフマラソン」等、他大会の視察も検討しながら、感染症予防対策を万全にした安全安心な大会運営ができるよう、エントリー開始までの期間に協議を進めていく。
- ・「みなと酒田トライアスロンおしんレース大会」は、事業実施にあたり日本トライアスロン連合と大会実行委員会の協議を踏まえて、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を

徹底しながら交流人口の拡大を図っていく。

- ・コミュニティ振興会及び体育振興会が主催する地区運動会やスポーツイベント等についても、コロナ禍を前提とした手法を検討しながら、世代間交流や地域の一体感が図られるよう支援していく。
- ・地域のスポーツ振興について、地区体育振興会やスポーツ推進委員会を中心に、コロナ禍でも少人数で取り組める「モルック」などのニュースポーツの普及を推進していく。
- ・東京オリンピック・パラリンピックが閉会したが、ホストタウン登録を契機とするとともに東京大会のレガシーとして、トライアスロン競技以外の競技も踏まえて、ニュージーランドのスポーツ選手との交流及び競技力向上を支援していく。

数値目標

KPI	指標値 (R6)	現状値		現状値 (R2)
		H30	H31	
湊酒田つや姫ハーフマラソン大会・みなと酒田トライアスロンおしんレース大会における交流人口 (市外・県外)	1,520人 (R11 1,600人)	1,415人		感染症拡大防止により大会中止

関連事業

No.	事業名	指標			事業費 (千円)
		指標名	単位	R元年度	R2年度 (決算)
				R2年度	R3年度 (予算)
1	スポーツ行事開催事業	延べ参加者数 (市主催4事業)	人	9,018	3,765
				感染症拡大防止により大会中止	16,850

(事業概要)

○市主催大会や各種競技大会のほか、県内で行われる縦断駅伝競走大会の実行委員会等に対し負担金を支出する。

- ・酒田市体育大会、市民体育祭、みなと酒田トライアスロンおしんレース大会 第10回湊酒田つや姫ハーフマラソン大会、巡回駅伝競走大会 (以上、中止)
- ・山形県縦断駅伝競走大会 (4/27-29 開催)
- ・山形県女子駅伝競走大会 (11/21 開催)